

日本学校教育相談学会第37回研究大会（京都大会）第3次案内

大会テーマ **子どもの願いをつなぎ、分かち合う学校教育相談 —多職種連携・協働によるチーム学校—**

京都大会のテーマは、「子どもの願いをつなぎ、分かち合う学校教育相談—多職種連携・協働によるチーム学校」です。不登校やいじめ問題、虐待などは年々深刻さを増しています。そういった中、改訂生徒指導提要では生徒指導の中核に学校教育相談が位置づけられました。加えて多職種が連携・協働し、支援にあたることも欠かせなくなっています。今こそ学校教育相談にかかわる私たちのありようが問われているといえます。子どもたちが心身共に安心・安全感を膨らませ、自己実現に向かうために、学校教育相談は何か出来るのか、どのように多職種が連携・協働をするのか、その際の教職員の専門性とは何か、どのような実践が求められるのかを議論したいと思います。

研究大会開催にあたり、多くの実践事例・研究発表、自主シンポジウムなどのお申し込みをいただき、ありがとうございました。皆様のご参加をお待ちしております。

一般社団法人 日本学校教育相談学会会長 春日井 敏之
第37回研究大会（京都大会）実行委員長 山岡 雅博

- 1 主催 一般社団法人 日本学校教育相談学会
- 2 主管 日本学校教育相談学会京都府支部
- 3 後援 文部科学省、京都府教育委員会、京都市教育委員会
京都府私立中学校・高等学校連合会、滋賀県私立中学校・高等学校連合会
- 4 期日 令和7年8月9日（土）・10日（日）
- 5 会場 龍谷大学附属平安高等学校・中学校
〒600-8267 京都市下京区御器屋町 30

JR 嵯峨野線「梅小路京都西」駅より徒歩7分、JR・近鉄「京都」駅より徒歩15分
阪急京都線「大宮」駅より徒歩15分

6 日程（予定）

< 8月9日（土） 9：30～17：30 >

9：30 開会行事

9：40 文部科学省講演

演題 「学校教育相談に期待されることとは」

講師 総崎由希 氏（文部科学省生徒指導室長）

10：20 記念講演

演題 「多職種連携・協働によるチーム学校」

講師 野田正人 氏（国立教育政策研究所フェロー・立命館大学名誉教授）

11：30 本部・現地合同企画シンポジウム「学校教育相談を軸にしたチーム学校の展開」

12：40 昼食・休憩

14：00 実践事例・研究発表（口頭・ポスター）、自主シンポジウム

< 8月10日（日） 9：30～12：00 >

9：30 実践事例・研究発表（口頭・ポスター）、自主シンポジウム

7 本部・現地合同企画シンポジウム、実践事例・研究発表、自主シンポジウム

① 8月9日（土）11:30～12:30 本部・現地合同企画シンポジウム

No	テーマ・メンバー	時間
☆	「学校教育相談を軸にしたチーム学校の展開」 企画者：春日井敏之 コーディネーター：春日井敏之 話題提供者：野本実希 宮迫嘉徳 指定討論者：野田正人（国立教育政策研究所・立命館大学名誉教授）	11：30

○8月9日（土） A:14:00～15:00 B:15:15～16:15 C:16:30～17:30

② 実践事例・研究発表（口頭）

No	発表主題・題目	発表者	時間
1	教師の省察を促す同僚教師のコンサルテーション —児童認知次元と語りの変容に着目して—	春日智稀	A
2	「学級通信」を通して行う「教育相談」の実際	河合篤史	A
3	子どもを支援する会議の効率化について —コーディネーターとしての実践から—	杉本弥生	A
4	自律への道—長い長い「場面緘黙」を経て	戸田三千代	A
5	A 市中学校におけるキャリア・パスポートの現状と課題について	松下眞治	A
6	スクールカウンセラーがチーム学校の一員となるためのシートの提案	原範幸	B
7	小中9年間を見通した教育相談を軸とした学級経営と校内支援体制の構築 —自己指導能力の育成と連携・協働に焦点を当てて—	越佑喜	B
8	「チーム学校」としての教育相談活動と多職種連携について —SSWコーディネーターの視点から—	坂本高英	B
9	教職員のメンタルヘルス—存在へのまなざしがもたらす心のケア	籠井淑江 大久保智弘	B
10	スクールカウンセラーのコンサルテーション場面における見立て共有プロセス の検討	浅野浩子	C
11	期待する評価的サポートと提供された評価的サポートのずれが読み書き困難な 状況における問題焦点型コーピング、問題状況の改善、学習適応に及ぼす影響	中井俊之	C
12	中学校学級担任が教育相談コーディネーターとして「育てる教育相談」を実践 することの効果	廣岡千絵	C
13	児童のよりよい人間関係を育てる学級経営—PBISとSSTを活用して—	片山亜紀子	C

③ 自主シンポジウム

No	テーマ・メンバー	時間
1	包括的な教育支援とは—多文化共生教育と特別支援教育から考える— 企画者：木村正男 司会者：木村正男 話題提供者：木村正男 伊佐治ちなみ 曾我部法子 神谷智之 指定討論者：滑川典宏（国立特別支援教育総合研究所）	BC
2	学校の教育相談体制の充実をめざして② —教育相談コーディネーターの役割、教員に求められる教育相談の力— 企画者：金子恵美子 司会者：小林秀之 話題提供者：住谷孝明 高田清美 藤坂雄一 指定討論者：藤原忠雄（神戸親和大学）	BC

3	グループカウンセリングを活用した学級の仲間づくり（５） 企画者：松本直美 伊澤孝 司会者：松本直美 話題提供者：瀬端成基 黒須瞳 齋川由香 増渕彩乃 指定討論者：瓦井千尋（壬生町教育支援センター・元宇都宮大学教職センター）	BC
---	--	----

④ 実践事例・研究発表（ポスター）

No	発表主題・題目	発表者	時間
1	不登校早期発見のための「登校力」を測定する SUTEKI-I の開発について —ポジティブ生徒指導・ピッサ方式の立場から—	市川哲 森本晃介 工藤弘 関丙言	A
2	不登校を予防し、「登校力」を高めるための魅力あるクラスづくり「PMC 法」を支える 3 要因（グッド・グッド関係、KH 型態度、サポート充実感）について —ポジティブ生徒指導・ピッサ方式の立場から—	森本晃介 市川哲 工藤弘 関丙言	A
3	「キラキラプログラム」による心理教育の実践 —中学 3 年生 1 クラスのクラスミーティングの記述から—	米田薫	B
4	「よいクラス」の生成と成長を児童の語りからたどる —自他と集団の視点から—	和久田耕平 米田薫 齋藤麻依	B
5	学校領域におけるマインドフルネス実践の文献研究	伏見佳奈 岩瀧大樹	C
6	不登校児童生徒の「居場所環境」としての相談室 —ボードゲームによるプレイセラピーの試み—	吉澤寿一	C

○ 8 月 1 0 日（日） D:9:30~10:30 E:10:45~11:45

① 実践事例・研究発表（口頭）

No	発表主題・題目	発表者	時間
14	精神科病棟に入院経験のある子どもの居場所づくりに関する実践報告 —「よって小屋」の実践より—	西垣伸悟 森本晃介 市川哲	D
15	不登校・いじめ等予防の基盤づくりへの提言 —協同教育の推進と対話力の育成—	渡辺正雄	D
16	教育相談的アプローチによる主体性の支援 —自己決定理論を手がかりとした学校適応のプロセス—	星川裕美	D
17	子どもの願いを中心にしたチーム支援の構築に向けた取り組み —「みんなに好かれる自分になる」を支えるために—	上野良	E
18	いじめ被害児童に対するスクールカウンセラーとしてのかかわり —いじめ被害児童が別室登校から教室へ復帰するまでのチーム学校としての取組を通して—	小林勉	E
19	被害感の強い児童が攻撃性を健全に使うための介入技法	永山智之	E

② 自主シンポジウム

No	テーマ・メンバー	時間
4	生徒指導提要が改訂された今、学校現場にとって必要な学校教育相談とは③ 企画者：木村正男 司会者：木村正男 話題提供者：木村正男 金子恵美子 高田清美 藤坂雄一 指定討論者：藤原忠雄（神戸親和大学）	DE
5	これからの学校教育相談の展開を考える―若手実践家からの提言を中心に― 企画者：岩瀧大樹 司会者：岩瀧大樹 話題提供者：上井勇一 伏見佳奈 島田敬裕 指定討論者：岩瀧大樹（立教大学）	DE
6	モヤモヤの中の新しい不登校支援 企画者：星麻衣 司会者：浅嶋美路 話題提供者：星麻衣 我妻義和 庄司宗由 指定討論者：遠藤美紀（千葉市教育センター）	DE
7	いじめを重大事態化させないために―対話を軸にしたチーム学校の実践― 企画者：森原かおり 司会者：森原かおり 話題提供者：森原かおり 廣岡千絵 黒田睦美 橋本奈々重 指定討論者：中村豊（東京理科大学）	DE

8 参加費のご案内

参加区分	研究大会参加費
	① Web 申込み期間 5/20 正午～7/28 15:00 まで(厳守) ② 参加費払込期日は、8/6(水)まで
会員	7000 円
非会員	8000 円
学生会員	2000 円
学生非会員	3000 円

※本大会では原則当日受付業務はございません。必ず事前にお申し込みください。

※参加に当たっては、Web 申込の後、電算システムから送られる払込票（ハガキ）により、8 月 6 日までに入金を完了された方が対象です。Web 申し込みの後、払込期日までに入金を確認できない場合は、自動キャンセルとなります。

※参加申込みは、日本学校教育相談学会のホームページ(<http://jascg.info/>)で行います。

※発表者も大会参加申込みが必要です。

※事前の参加申込みに関する業務は、京都大会参加申し込みサポートデスク（平文社）が対応します。

※領収書は振込受領証で代替します。別途領収書が必要な場合は会場の受付に申請してください。サポートデスクでの発行は行っておりません。

9 その他

- ・本大会では、宿泊の斡旋、昼食の注文は行いません。また近隣に飲食店が少ないため、各自でご準備ください。
- ・例年大会前日に実施されているワークショップは別日程になります。詳細については、後日本部より案内があります。
- ・大会参加証明書は、当日会場でお渡しします。
- ・今後、大会に関する情報は、すべてホームページに掲載します。ご確認ください。

10 会場アクセス（下図をご参照ください）

<電車での来場>

【JR 嵯峨野線「梅小路京都西」駅】より徒歩 7 分

【JR・近鉄「京都」駅】より徒歩 15 分

【阪急京都線「大宮」駅】より徒歩 15 分

<バスでの来場>

* 下車バス停はすべて「七条大宮・京都水族館前」、徒歩 5 分

【京都駅前より】

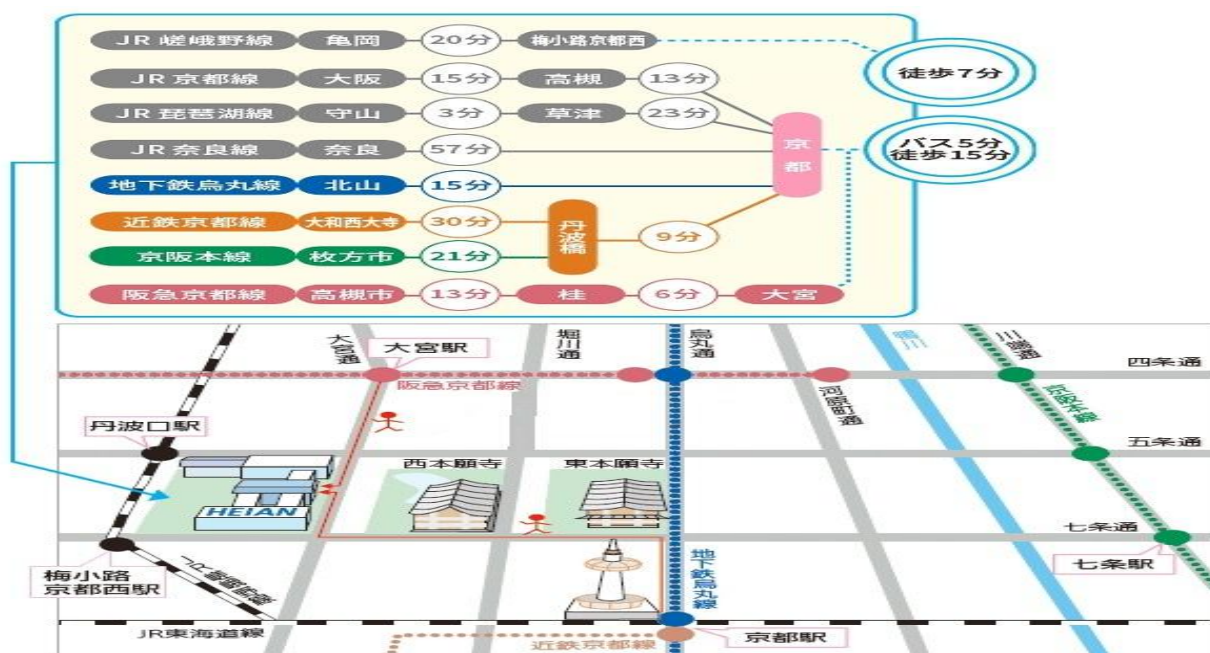
京都市バス（**A3 乗り場**から 6 系統、206 系統）

* D2 乗り場は逆方向になりますのでお間違えのないように

西日本 JR バス

【四条大宮より】（阪急「大宮」駅 2B 出口より）

京都市バス 3 番乗り場（6 系統、206 系統）・JR バス



【お問合せ先】

○研究発表・自主シンポジウム申込に関すること

第37回研究大会（京都大会）実行委員会事務局長 赤尾宗一
（メールアドレス jascgkyoto2025@gmail.com）

○参加申込みに関すること

京都大会参加申し込みサポートデスク（平文社）
（メールアドレス jascg-conf@heibun.co.jp）

【日本学校教育相談学会ホームページ】

<http://jascg.info/>

